

## 飯島報告への感想にかえて

角瀬 保雄 (法政大学教授)

協同総研の93年度の基本研究会のテーマ「新しい協同組合」のトップバッター、飯島報告は高齢者のデイケア事業の典型例を足で調べたもので、きわめて興味深いものであった。報告内容そのものについては、筆者はまったくの不案内であって、勉強になったということ以外に、コメントするものをもっていないというのが正直なところである。だが、そういつてしまえば責任が果たせないで、飯島報告を契機に筆者がさらに知りたいと思った点を挙げさせていただくことにしよう。

第1には、公的福祉の不足、欠陥を踏まえて、今日の日本で、協同組合組織が果たしている役割はどの程度なのかということ。

第2には、北欧など諸外国ではどうなっているか、その先進的な経験や問題点はどこにあるのか。

第3には、公的な組織、民間段階を含め、さまざまな組織が福祉活動をしていることと思われるが、協同組合組織の優位性はどこにあるのか。既存の生協はどこまで取り組んでいるのか。それとの関連で「新しい協同組合」の果たしうる独自の役割分担はどういうところにあるのかということ。

第4には、その担い手がボランティアや慈善団体ではなく、協同組合であるかぎり、その経営がどのようになされているのかということが当然、問題になる。独立採算では難しいことが考えられるので、公的な助成とどのようなリンクがなされているのか。さらにはサービスの受け手の負担はどの程度なのか、またサービスの提供者側の報酬はどのようなシステムになっているのか。

## 新創刊『仕事の発見』の定期購読を

先に送付しました『仕事の発見』第26号、特集「労働者協同組合と労働組合」をもって、会員の皆さんへの会費分としての送付は打ち切らせていただきました。一緒に送付しました、新創刊の『仕事の発見』が労働者協同組合連合会より12月より発刊しました。

労働者協同組合運動の中身を生にお伝えし、研究所も編集に協力し、将来的には労働者協同組合グループの機関誌にしていく考えています。よい仕事とまちづくりをすすめる人たちに、是非手に取ってほしいものです。購読は下記の要領になっていますので、会員の皆さんのご購読、地域や職場の方々への普及をお願いいたします。

なお、協同のためのネットワーク誌、協同の理論情報誌として、所報『協同の発見』を一層充実させて企画・編集していきますので、合わせてご協力をお願いいたします。

### 【新創刊『仕事の発見』購読方法】

◇編集発行◇日本労働者協同組合連合会

◇編集部◇シーアンドシー

◇発売元◇生活ジャーナル

◇購読料等◇年間6回発行、B5判、56頁

年間購読料5,520円

(定価680円+送料240円)×6冊

◇申込先◇日本労働者協同組合連合会

豊島区雑司が谷3-22-10

TEL 03-3987-5919

FAX 03-5952-9566

郵便かFAXにてご連絡いただくか、郵便振替<東京7-186765 仕事の発見編集部>にてご送金ください。